

## 会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（3月定例会）会議録
開催日時	平成31年3月29日（金）午後3時から午後5時まで
開催場所	保谷庁舎1階 会議室
出席者	委員：服部議長、岩崎委員、内田委員、川原委員、木下委員、 沼本委員、長谷川委員、原委員、矢野（真）委員、 矢野（尊）委員 事務局：掛谷課長、堀主幹、青木主事
議題	（1）社会教育行政のあり方について （2）その他
配付資料	資料1（草稿）今後の社会教育行政の運営体制について（提言）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>●平成31年2月の臨時会議の会議録について、承認する。</p> <p><b>（1）社会教育行政のあり方について</b></p> <p>○議長：前回までの会議の内容を踏まえて、起草委員会にて再度議論を行った。そして今回、「はじめに」から「2 今後の施策の方向」までの草稿を起草委員会にてまとめ、お手元に配付している。資料1について一度目を通していただき、意見をお願いしたい。まず「はじめに」から「1 今後の社会教育に求められるもの」の部分に関して意見はあるか。</p> <p>○委員：3ページの「合計特殊出生率」とは何か。</p> <p>○委員：1人の女性が生涯に産むことが見込まれる子供の数を示す指標である。注釈で説明を加える。</p> <p>○委員：「はじめに」の部分は、現在2段落目にある「社会教育は」から始めた方が良いのではないか。また、現在の1段落目、3段落目は「期待されている」という文言も重複していることから、1段落目の文言を整えた上で、こちらにまとめても良いと思う。 2ページの5段落目は、「だが、近年多様な主体との連携～」の部分の主語を「市民の学習を巡っては」などと明記したほうが良いと思う。 また、5段落末尾は「少なかったのではないかな」という曖昧な表現ではなく、「少なかったと思われる。」などと言い切りの表現が望ましいと思う。</p>	

2 ページ目最後の段落の「連携」はその前の段落では「連携・協働」となっているため、表現を統一した方が良いと思う。

○委員：3 ページの3 段落目の「健康学習」という文言は無くても意味は通じるのではないか。

4 ページの最初の段落の「(仮称)生涯学習センター」についての説明は、先に述べておいた方が良いと思う。

また、次の段落では「保育園」のみ触れられているが、「幼稚園」も加えた方が良いのではないか。

○委員：4 ページの3 段落目の「国際化と関わり理解されるグローバル化」は「グローバル化」だけで良いと思う。

○委員：「グローバル化」だけで問題ないと思う。

○委員：4 ページの「第四には」の部分について、最初の段落で述べていることは間違いではないが、「学校教育と社会教育とが協働することを求められた結果、社会に開かれた教育課程が導入され、改めて地域との連携が重要視されることとなった」のような表現の方が良いと思う。

○議長：全体として読み手が誤解をしないような表現を意識しながら、改めて提言の作成を行っていく。

○議長：それでは、「2 今後の施策の方向」について意見はあるか。

○委員：5 ページの最後の段落にある「たまご=他孫」については、この言葉の原拠を示した方が良いと思う。

○委員：5 ページ以降、「市民」「住民」と記載があるが、統一するか定義付けして分けるのか、決めた方が良いと思う。

また、「高齢者」という表現が多いようにも感じる。例えば「地域の高齢者、成人」は「地域の住民」くらいでも良いと感じる。平成31年2月の東京都生涯学習審議会にて建議された資料には、地域学校協働活動についてまとめられているため、そちらの表現を踏襲するのも良いと思う。

6 ページの2 段落目の「空き家等の利用～」については、「例えば～のような空き家の活用」のように例示をした方が良いのではないか。

「(2)機能としての生涯学習センター」の部分は、今回の提言において重要な部分であると思う。読み手が生涯学習センターを「建物」ではなく「機能」を指すと理解しやすいように表現を考える必要があると思う。

8 ページ「社会教育が健康長寿に～」の段落は、あくまでも読書が健康長寿に寄与していることが伝わるよう、表現を検討した方が良いと思う。

- 委員：（１）のタイトルについては、読み手に伝わるような表現を検討した方が良いのではないか。
- 議長：確かに「高齢者」という表現が多いと思う。ボリューム等含め、内容を考える必要があると思う。  
また「空き家」についても、社会福祉協議会等での活用事例もあるため、どのように提言に盛り込むか、（１）のタイトル等も含め検討する。
- 委員：（２）については、「生涯学習センター機能」という表現にした方が良いと思う。「生涯学習センター機能とは、ファミリーサポートセンターのような機能を拡充する」のような表現であれば、読み手に誤解を与えにくいのではないか。
- 委員：他の（１）（３）のタイトルと表現を整えるとすると、（２）のタイトルは「生涯学習センター機能の整備」のようにした方が良いと思う。
- 委員：「生涯学習センター機能の拡充」でも良いのではないか。  
また、（２）の１段落目の最後「あえて～」の部分は、表現を考えた方が良いと思う。例えば「社会教育の基礎を踏まえて、市民の自発的な学習を支援することを視野に入れて～」のようにするのはどうか。
- 議長：（２）については、「生涯学習センター機能」という表現に統一し、タイトルについては検討していく。  
その他、特に意見がなければ、「３ 今後の社会教育行政の運営体制について」に移りたい。起草委員やこれまでの定例会の内容を踏まえ、３の方向性について事務局にまとめてもらったので、説明をお願いしたい。
- 事務局：３の方向性については、起草委員会の「２」までで文章化した内容に基づくと、２つの面からまとめてはどうかということに集約された。１つ目に学校教育と社会教育を一体的に推進できる体制の構築や、現在の社会教育課のあり方を検討する必要性についてなど、組織体制の整備の面である。２つ目に「生涯学習センター機能の整備」に伴い、社会教育全体を統括するコーディネーター、そして地域学校協働活動を推進していくために必要なコーディネーターの設置など、人的な整備の面である。
- 議長：３については、説明があったように「組織体制」及び「人的」整備の面からまとめていきたいと思うが、何か意見はあるか。
- 委員：参考として、文部科学省の組織については、機能で分かれてきている。  
人的面については、コーディネーターの配置など、国の方向性と揃っており、良いのではないか。西東京市として、今後地域学校協働活動を積極的に

推進していくために、統括するコーディネーターを配置することが、社会教育の拡充を推し進めることに繋がると思う。

- 委員：前回の提言では、具体的な組織にまで触れているが、今回も組織にまで触れるべきであるか。
- 委員：組織については本来、行政が決めることであって、提言することではないと考える。
- 委員：前回の提言は、組織体制に関して、組織図にまで触れている。そしてこの提言が現在まで引き継がれていることからすると、全く触れない訳にはいかないと思う。しかし、まずは社会情勢の変化や法改正等を踏まえた上で、今後の社会教育に求められるものに則した組織の在り方について述べた方が良いのではないか。
- 議長：今回の提言では、コーディネーターの配置に伴う増員の提案など、社会情勢の変化や法改正等を踏まえた上で、今後の社会教育に求められるものに則した組織の在り方についてまとめていきたいと思う。

## (2) その他

### ※4月から6月の開催日程について

- ・第4月曜日の午後2時から開催予定。

### ※東京都市社会教育委員連絡協議会定期総会について

- ・平成31年4月20日（土）午後1時から武蔵野公会堂にて開催予定。  
欠席の場合は、4月5日（金）までに委任状を事務局まで提出する。

※次回会議 4月22日（月）午後2時  
保谷庁舎別棟 B会議室